

No. 008

かまぼこ製品に閉経後女性の高コレステロール血症阻止効果が認められた

研究タイトル；水産練製品のエストロゲン欠乏誘発高コレステロール血症抑制効果

主任研究者；愛媛大学農学部栄養化学研究室・教授 海老原 清

研究目的；女性の血清コレステロール濃度は閉経後急激に上昇する。このことは脳・血管系疾患をもたらし、寝たきりや認知症（痴呆症）の原因にもなっている。この予防のためには薬剤やエストロゲンの使用もあるが、その使用には副作用も含め、いろいろと問題がある。健康の維持・増進の原点は食生活にあり、食生活の改善が閉経後の血清コレステロール濃度の急激な上昇を抑制する事例は多く報告されている。本研究では魚肉タンパクが閉経後の血清コレステロール濃度の急激な上昇を抑制できるかについて検討することにした。魚肉タンパク源としてかまぼこ製品を用いた。

研究結果；血漿コレステロール濃度はタンパク質源として牛乳タンパク（動物性タンパク質で血清コレステロール濃度を上昇させる）を与えられた卵巢摘出ラット（閉経女性のモデルとして用いられている）に比べ、かまぼこおよびかまぼこの原料であるタラ、イトヨリダイ、エソすり身を与えられた卵巢摘出ラットの方が低かった。このことは、かまぼこに閉経後女性の血清コレステロール濃度の上昇を抑制する効果のあることを示している。

